

令和5年度

第2回桂萱公民館運営推進委員会

日 時 令和6年3月14日（木） 午後2時～

場 所 桂萱公民館 1階 会議室



前橋市桂萱公民館

会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ 委員長

3 議 事

協議事項 1 令和 5 年度 桂萱公民館の総括報告について

協議事項 2 令和 5 年度 桂萱公民館の個別事業報告について

協議事項 3 次年度に向けて

協議事項 4 その他

4 閉 会

I 令和5年度桂萱公民館主催事業及び関連行事等の実施報告について

(1) 桂萱公民館 経営の方針

- ・本館の経営にあたっては、第3期前橋市教育振興基本計画に基づき、「主体的な学びの実現」につながる学習機会の提供と、多様な主体をつなぐ「社会教育の拠点」としての公民館社会教育事業の充実、さらには個の学びをを社会に還元できる「地域の担い手の育成と活用」を通じて、本格的なウイズコロナ時代の「地域づくりに生かす社会教育の推進」に取り組みました。

(2) 重点施策と目標（市内公民館共通）

- ・以下に掲げる3つの施策を重点施策として位置付け、各事業を運営して参りました。
 施策[1] 主体的な学びの実現につながる学習機会の提供
 施策[2] 社会教育の拠点としての公民館社会教育事業の充実
 施策[3] 地域で活躍する人材の育成と活用

(3) 桂萱公民館としての事業運営方針

- ・事業の実施にあたっては「調査」「立案」「実施」「評価」の各段階において、以下の諸点に留意しながら取り組んで参りました。全事業 30 事業→46 事業（95 コマ維持）

【視点】	【留意点 及び 事業・講座の実施状況】	【備考】
調査	・前年度アンケートの活用、運営準備委員の意見、各種団体からの希望調査等により、事業対象者の学習ニーズを的確に把握すること。 ➢ アンケート結果を考慮した単位事業 66 コマ	事業概要参照
立案	・事業に関する各種団体との連携・協力を深め、事業内容の深耕を図るとともに、地域特性及び地域課題に対応した学習プログラムを形成すること。 ・全市的なデジタルデバйд解消講座の開催すること。 ➢ 連携先を確保した事業の割合 9 講座 デジタルデバйд系 6 講座	
実施	・新しい地域価値の創造に向けて、地域人材の活用を進め、公民館の学習成果を地域に還元できる住民主体型の事業運営を行う。また、事業実施に関する情報発信を実施すること。 - R5 度 実施状況 ➢ 来館動機の弱い年齢層に対する参加及び協力への誘導 高校生、大学生、専門学生・・・51 人 一般男性(30 歳代～50 歳代)・・・20 人<付き添い送り迎え除く> ➢ 地域人材講師の活用・・・14 コマ ➢ 効果的な情報発信・配信 桂萱公民館(桂萱市民 SC)からの市インスタグラム投稿・・・19 件投稿 前橋市ホームページ・・・随時更新(施設紹介・講座情報など) 公民館報「桂萱」の発行・・・カラー版 1 日を発行 ユーチューブ配信・・・4 件投稿	
評価	・客観的根拠をもとに各事業の効果測定を行い、公民館運営推進委員会への報告を始め、評価結果のフィードバックを通じて事業改善を図る。 - R5 度 実施状況 ➢ 講座実施後のアンケート実施・・・27 事業/46 事業 ➢ 講座の「満足」「やや満足」の割合・・・90%以上	

(4) 令和5年度桂萱公民館主催の講座・事業

事業名 (市費分決算見込み)	対 象 《R5実績》	事業内容・事業のねらい等
1 青少年チャレンジ スクール (93千円) (夏・秋・冬)	・小中学生 《実績 延べ439人》	・異学年や別の学校区の児童生徒同士が集い、諸活動を通して心身の健やかな育成と仲間づくりを図る。
2 いきいきシニア スクール (34千円)	・主に地区内60 歳以上の高齢者 《実績 延べ144人》	・高齢化社会の中で、生き甲斐のある生活が送れるような生活態度を身につけることや地域社会の諸活動に進んで参画する意欲を高めるため、集団的に学び活動を提供。
3 学び合い、人権、 地域ふれあい事業 (30千円)	・一般成人他 ① 学び合い 《実績延べ135人》 ② 人権 《実績延べ210人》 ③ 地域ふれあい 《実績延べ1777人》	・地域課題、生活課題、今日的課題などについての多様な学習要求を踏まえた学習を通して、地域活性化及び社会教育の充実を図る。学習会を基本として、幅広い年代層の参加者に学習の機会も提供する。 食育や金融、音楽、読書普及、健康づくり、エピソード募集など多岐にわたる学習活動を提供した。
4 地区文化祭 (140千円)	・地区内全住民 ＜入場者延べ 2,500人＞	・地区内で学習文化活動に取り組む住民・グループ・団体等が一堂に会し、それぞれの学習成果を発表し合い、互いの交流を深め、また地域文化への興味や関心、意識を高め、住みよい地域づくりに寄与する。
5 生涯学習奨励員活動 支援 (別途)	・地区生涯学習奨励員 ・自治会長 《実績 135人》	・地区生涯学習奨励員・自治会長を対象に生涯学習活動を充実するための経験交流や学習を行う。 ＜ふれ愛コンサート＞＜ふるさと探検調査＞＜スマホ＞
6 自主学習グループ 支援事業 (12千円)	・自主学習グループ 《実績 延べ 80人》	・公民館を利用する自主学習グループを対象に、リーダーとしての資質や知識を高めるための研修を実施する。 ＜野外研修、スマホ、サークル見学週間＞
7 わいわい子育て セミナー (83千円)	・乳幼児を持つ親連続講座 《実績 延べ251人》 運営委員会5回 ＜前期その1.その2＞ 在籍16組、6組 各4回 ＜前期集合＞4組 2回 ＜後期＞ 在籍13組、4回講座 ＜総集編＞12組	・0歳～3歳児の乳幼児を持つ親を対象に、家庭教育に係る学習を通して、明るく豊かな家庭生活を築こうとする意欲や実践力の向上を図る。また学習機会を通して、仲間作りを支援するために、関係機関を含めた住民参加の開設運営委員会を設け、学習プログラムを編成する。 ＜うち、託児付き講座3回＞ ＜家庭教育学級3コース、芋ほり、野外遊び、クリスマス会＞ ※後期その4は、3組のみであったため中止とした。
8 子育て支援講座 (0千円)	・ボランティア団体及び 地区住民 《未実施》	・子育て中の親の生涯学習活動を支援する「託児者」や「協力者」を養成し、地域で子どもを育てる意識や体制づくり等を支援する基盤づくりを図る。

9 インリーダー・ 育成指導者講習会 (24千円)	・小学生 ・育成指導者 《インリーダー17人》 《育成指導者 8人》 ・育成会等役員 20人	・桂萱地区内の小学生を対象に、子ども会を自主運営できるリーダーを養成するための研修を実施するもの。 ・また、子どもを指導・援助する育成会指導者向け講習会を同時開催し、指導者としての基本的知識や技術を身につけ、地域で子どもを育成するための一助とする。
10 情報提供事業 (150千円)	・地域全住民 配布実績 《延べ15万世帯閲覧》	・公民館活動、地区行事、学校行事など、様々な地域に係る内容の情報提供併せて、市、桂萱地区、各町の話題などを公民館報やホームページ、フェイスブック等を通して提供。 ユーチューブ地域紹介動画を作成配信。 インターネット体験会を開催。 ＜ユーチューブ視聴 1165回（今年度現在分）＞

(5) 事業に伴う情報機関発信

① 桂萱公民館報
② 前橋市ホームページへの事業募集内容など掲載
③ 前橋市Instagramへの投稿
④ 外部報道機関へ情報提供・掲載 ・人権七夕、インリーダー講習会、親子工作教室、交流ワークショップ、手話教室、文化祭、夢エピソード展 ほか

(6) 部屋別の貸し出し状況(令和5年4月～令和6年2月) 上段：件数、下段：人数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
公共団体	62	22	38	67	23	41	32	32	27	48	57	426
	4,452	815	319	3,082	233	836	333	383	266	1,321	3,084	9,784
青少年団体	12	19	12	16	24	20	47	13	10	17	15	166
	258	120	60	158	217	99	196	61	64	133	102	1,537
女性団体	2	2	1	1	2	5	2	3		1	2	14
	68	57	17	40	20	87	14	73		47	72	332
成人団体	142	143	180	143	137	166	131	143	126	132	145	1,543
	1,454	1,536	1,921	1,439	1,417	1,674	1,417	1,563	1,379	1,341	1,632	15,279
高齢者団体	1	2	2	2	4	4	5	3	2	2	1	22
	5	43	50	40	88	73	108	32	26	84	20	383
主催事業	5	11	11	19	28	14	51	24	17	7	10	161
	228	384	187	459	596	244	2,617	397	724	309	192	4,698
企業その他		3	1	2	3	4	1	3	2	1	2	18
		51	10	34	33	91	25	40	36	28	38	314
合 計	224	202	245	250	221	254	269	221	184	208	232	2,510
	6,465	3,006	2,564	5,252	2,604	3,104	4,710	2,549	2,495	3,263	5,140	41,152

(7) 令和5年度 部屋別稼働率のまとめ (※2月末集計で対比)

	第1和室	第2和室	第3和室	造形室	講義室	ホール	会議室	調理室	合計
件数	263	297	71	258	324	589	387	131	2320
総枠数	R5年度1008枠 (R4総枠1014枠・R3-684・R2-594・R元-984)								—
R5稼働	26.1%	29.4%	7.0%	25.5%	32.1%	58.4%	38.3%	12.9%	28.7%
R4稼働	27.0%	31.2%	6.7%	35.9%	32.3%	58.6%	37.4%	12.4%	28.9%
R元稼働	33.0%	37.9%	13.8%	39.8%	48.7%	71.3%	42.9%	18.9%	38.3%

(8) 令和5年度の桂萱公民館の施設整備・補修等の状況

	場 所	補 修 内 容	金 額
1	ホール	照明器具撤去、LED天井照明	課予算対応
2	駐車場	カーブミラー大型化付け替え	11,660
3	調理実習室	三徳・牛刀包丁(4)、テーブルコンロ(1)、 ガス漏れ警報器入替	101,948
		業務用ガス湯沸器(2)	課予算対応
4	講義室	アップライトピアノハンマー整形	19,800
		床剥離作業工事	課予算対応
5	2階屋外	変電避雷器用接地線修繕	45,100

(9) 年間主催事業及び社会団体育成事業報告 05.3.10現在

月	行 事 名
4	・各種関係団体総会 ・スポーツ協会総会 ・各学級、講座の開設準備 ＜情報提供＞【動画】かいがや散歩～谷地沼親水ふるさと公園編～ ＜奨励員＞ふるさと探検調査(～通年)
5	・のびゆくこどものつどい・ふれあいのひろば ＜子育て親子支援＞子育てセミナー運営委員会～講座終了12月まで(5回) ・スポーツ協会スマイルボウリング大会 ＜地域ふれあい＞グランドゴルフ講座シーズン①(5～7月)計8回 ・自主学习グループ連協野外研修(長野県)
6	・自主学习グループ連協前期公民館清掃 ・スポーツ協会ソフトバレーボール大会 ＜人権＞《ロビー展》人権七夕飾り(～7月)・前橋空襲の記憶パネル展示 ＜地域ふれあい＞第4回桂萱ビブリオバトル
7	＜青少年チャレンジ＞インリーダー講習会・育成指導者講習会 ・第1回公民館運営推進委員会 ＜青少年チャレンジ＞サマーチャレンジスクール(～8月 計16回) ＜情報提供＞【動画】かいがや散歩～荻窪公園編～ ＜情報提供＞【動画】空から桂萱を見てみよう
8	＜学び合い＞いきいきシニアスクール(～9月 計4回) ＜情報提供＞インターネット体験会&クールシェア ＜学び合い＞防災講座(風水害) ＜情報提供＞桂萱スマホ教室(A・Bコース)

9	・スポーツ協会ゴルフ愛好会親善ゴルフ大会 <学び合い>防災講座（地震） <地域ふれあい>健康グラウンドゴルフ講座②（9～12月）計13回 <子育て親子支援>わいわい子育てセミナーその1（全4回） ・スポーツ協会ソフトボール大会 <人権>《ロビー展》手をつなぐ作品展&福祉作業所物販（～10月）
10	・地区市民運動会 <情報提供>【動画】桂萱Kitchenゼミ～パタパタおにぎらず～ ・地区文化祭<舞台、展示、フロア、特別、生涯学習部門>3日間 ・スポーツ協会グラウンドゴルフ大会 <子育て親子支援>わいわい子育てセミナーその2（全4回） <青少年チャレンジ>オータムチャレンジ（赤城山ろく里山事業）（2回） ・前橋の子どもを明るく育てる活動地区発表会 <情報提供>秋季桂萱スマホ教室
11	<子育て親子支援>わいわい子育てセミナーその2（全4回） ・スポーツ協会レディースバレーボール大会 <地域ふれあい>第5回桂萱ビブリオバトル
12	・子ども会書画展表彰式《ロビー》書画展示 <学び合い>お金の講座（新NISA） ・自主学習グループ連協後期公民館清掃 ・スポーツ協会卓球大会 <青少年チャレンジ>ウインターチャレンジ（2回） <地域ふれあい> わくわくワークショップで楽しもう&桂萱公民館に行ってみよう <地域ふれあい>幸せエピソード「夢」募集事業 <子育て親子支援>ベビープログラム（計4回）
1	・令和5年度部屋利用減免申請説明会 <地域ふれあい>健康グラウンドゴルフ講座③（1月～3月）計8回 <学び合い>おとなのための音楽物語 <奨励員>スマホ講座
2	<地域ふれあい>《ロビー》伝統工芸品（ひな人形）展示（3月まで） <情報提供>冬季インターネット体験会 <地域ふれあい>もったいないスペシャルWeek ・自主学習グループ連協研修（スマホ講座） ・自主学習グループ見学・体験週間
3	<地域ふれあい>幸せエピソード「夢」ロビー展及び冊子作製配布 ・第2回公民館運営推進委員会
月例	・公民館報桂萱の発行（毎月1日）うち、連協だより（7・1月）青健だより（3月）

2 令和5年度桂萱公民館の事業個別報告について

※別冊資料参照

3 次年度に向けて

○学習機会をひろげて、さまざまな主体と連携実施していく。

●三大事業を通常実施

のびゆくこどものつどい、運動会、文化祭の実施

●公民館講座・事業

- ・地区高校生の参加や講師補助となる事業
- ・動画による地域紹介、地域活動支援に結び付くもの
- ・大学や専門学校などとの連携事業
- ・普段足を運ばない世代などを対象とした講座
- ・公民館ロビーを活用した紹介事業
- ・デジタルデバイド（情報化弱者）解消講座
- ・人口に応じた講座行事数の確保（シニア・青少年含む）
- ・ボランティア活動を理解してもらう事業（中学生等）
- ・学習グループなどの会員や地区住民が講師となる講座

●団体活動支援

- ・自主学習グループ支援
- ・生涯学習奨励員活動支援
- ・健全育成団体支援
- ・スポーツ協会活動支援
- ・自治会関係団体（社協など）との連携共催事業

●公民館施設管理

- ・修繕個所の早期発見と対応
- ・電子貸館予約システム稼働準備

令和5年度

第2回桂萱公民館運営推進委員会

日 時 令和6年3月14日(木) 午後2時～

場 所 桂萱公民館 1階 会議室

前橋市 桂萱公民館

学級・講座学習プログラム・資料編

- 1 子育て・親子支援事業 ————— p1～8
- 2 青少年体験・チャレンジ活動事業 ————— p9～17
- 3 学び合い、人権、地域ふれあい事業 ————— p18～35
- 4 生涯学習奨励員活動支援事業 ————— p36～38
- 5 桂萱地区文化祭 ————— p39～40
- 6 桂萱公民館自主学習グループ事業 ————— p41～43
- 7 桂萱公民館 館報「桂 萱」 ————— p44
- 8 各種団体事業・団体育成事業 ————— p45～46
- 9 読書普及活動 ————— p47
- 10 関係資料
 - ① 前橋市公民館条例
 - ② 前橋市公民館運営審議会規則
 - ③ 前橋市公民館運営推進委員会規則

1. 子育て・親子支援事業

わいわい子育てセミナー(前期その1)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳児から1歳6か月未満の子とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、インスタグラム

(3) 内容

在籍 11 組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/7 (木) 10:00～11:30	はじめまして！親子遊び	実技	市幼児教育センター アドバイザー 今井 寿美枝	9組
2	9/13 (水) 10:00～12:00	陶芸教室 コップかお皿	実習	楽陶クラブ	10組
3	9/21 (木) 10:00～11:30	ベビーダンス	実技	キッズベビーダンス インストラクター 加藤 七恵	9組
4	9/25 (月) 10:00～11:30	アンデコールロゼット作り	実習	アンデコールロゼット 認定講師 本間 奈津希	7組

(4) 評価と反省

公民館報で運営委員を募集したところ2名の運営委員が集まり、運営委員会で内容や方法を検討し開催に至った。毎年定員超過で参加できない人がいることから、対象年齢を0歳児から1歳6か月未満と1歳6か月から3歳の子に分けて、4回連続講座を1セットとして実施した。新型コロナウイルス感染症が緩和されて、各1講座に1回託児を開催することとなった。

託児があることで、心配していた方もいたが、子どもと離れ親同士で交流でき楽しく陶芸を行っていてリフレッシュの場とすることができた。託児の際は、それぞれの参加者の子どものおもちゃ、タオル、ミルク、おむつ等が混ざらないように全ての持ち物に名前の記入をすることを徹底しなくてはならないと

感じた。沢山の子どもがいるのでどの子に何をしたのか全員で子どもの状態を把握できるように、メモ書きで共有していくことが大事と感じた。

今回、子どもの月齢を分けたことで、講座の運営は去年に比べて格段にしやすいになった。



陶芸の様子



託児の様子

わいわい子育てセミナー(前期その2)

(1)ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術と一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2)対象等

対象：1歳6か月から3歳児とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、インスタグラム

(3)内容

在籍6組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/5(木) 10:00~11:30	はじめまして!親子遊び	実技	子ども支援課 保育士、管理栄養士	4組
2	10/11(水) 10:00~12:00	料理教室 パウンドケーキ作り	実習	わかばの会 指田 純子	4組
3	10/19(木) 10:00~11:30	キッズダンス	実技	キッズベビーダンス インストラクター 加藤 七恵	4組

4	10/23 (月) 10:00～11:30	アンデコールロゼット作り	実習	アンデコールロゼット認定講師 本間 奈津希	4 組
---	--------------------------	--------------	----	--------------------------	-----

(4) 評価と反省

1歳6か月から3歳児の子とその保護者が対象では、申込者がとても少なく、児童館にチラシを置かせていただいたり、運営委員さんの協力でなんとか開催できる人数まで達した。少人数での講座により参加者全員が一人一人と交流でき初回からとても仲が深まった印象が強い。

第3回目のキッズダンスでは、様々なメニューで子どもと一緒に体を動かすことができ、親子共に笑顔が見えた。

第4回目のアンデコールロゼット作りでは、簡単に可愛いものが作れて満足している様子が感じ取れた。

小人数であると参加者同士話す時間も多く、深く交流できるのでその点に関しては成果があった。



キッズダンスの様子



アンデコールロゼットの様子

わいわい子育てセミナー(前期番外編)・青少年オータムチャレンジ合同

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：セミナー参加者 0歳児から3歳の子とその兄弟とその保護者

周知方法：公式LINE、チラシ

(3) 内容

	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/21(日) 10:00～11:00	さつまいも掘り	実技	農畜産物直売所 「味菜」	-
2	10/22(日) 10:00～11:30	荻窪公園で探検&工作	実技	田子 智代	4組 15人

(4) 評価と反省

さつまいも掘りは、申込者はいたが、雨天延期により別日程になったため参加者がいなくなってしまっており、青少年オータムチャレンジ単独講座として実施された。運営委員より休日に家族全員で参加できる回があると良いという意見があったため、休日に行う回を設けた。

荻窪公園行事の工作では、どんぐりや落ち葉拾いをしてマラカスや冠作りを楽しく作業していて満足そうだった。子どもの工作中的真剣な姿であったり、普段見ることのない子どもの一面を見ることができてよかったと好評だった。

休日講座の必要性を感じとれたので、さつまいも掘りを含めぜひ来年度も実施したい。



読み聞かせの様子



落ち葉や木の実に作品作りの様子

わいわい子育てセミナー(後期その3)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、

子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象： 0歳児から1歳6か月未満の子とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、インスタグラム

(3) 内容

在籍 13 組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/6 (月) 10:00~11:30	はじめまして！親子遊び	実技	子ども支援課 保育士、管理栄養士	10 組
2	11/8 (水) 10:00~12:00	料理教室 蒸しパン作り	実習	わかぼの会 指田 純子	8 組
3	11/16 (木) 10:00~11:30	手形足形シールフラワーア ート	実技	Pta pta art 坂本 ゆきえ	13 組
4	11/20 (月) 10:00~11:30	レジンのキーホルダー作り	実技	インアリウム認定講 師 大矢 宏美	10 組

(4) 評価と反省

前期その1に参加していただいた方も数名再度申込していただき、13 組集まった。作業するペアは、新規申込者と2回目申込者を混ぜてできるだけ関わった事のない方達同士で組み、交流できるようにして、多くの方と交流できたと思う。

1 番楽しみにしている講座に手形足形シールフラワーアートがあがり、全員が出席で開催できた。参加者から「記念のものができて良かった」「とても楽しくかわいい作品が出来て嬉しい」などの感想があり好評だった。子どもの成長を形に残せる事はとても良い機会なので、今後も開催していきたい。



蒸しパン作りの様子



手形足形シールフラワーアートの様子

わいわい子育てセミナー(後期その4)【中止】

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：1歳6か月から3歳児とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、Instagram

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/4(月) 10:00~11:30	はじめまして！親子遊び	実技	市幼児教育アドバイザー 今井 寿美枝	中止
2	12/6(水) 10:00~12:00	陶芸教室 お皿かコップ作り	実習	楽陶クラブ	中止
3	12/13(水) 10:00~11:30	みんなで笑おう！～イヤイヤ期の子育て～	講義	市幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	中止
4	12/21(木) 10:00~11:30	クリスマスパルーンアート	実技	設楽 和幸	中止

(4) 評価と反省

対象年齢が1歳6か月から3歳児であるためか、申込者が少なく開催中止となってしまった。平日開催であり、働く親が大半であることを実感させられる結果となった。

わいわい子育てセミナー(前後期総集編)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。

③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：セミナー参加者 0歳児から3歳の子とその兄弟とその保護者

周知方法：公式LINE、チラシ

(3) 内容

在籍 15 組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/25 (月) 10:00~12:00	全員集合！クリスマス会	実技	桂萱読み聞かせの会 「はぐはぐ」 設楽 和幸	12組

(4) 評価と反省

総集編のイベントとしてクリスマス会を実施した。事前準備等を行いホールの会場はクリスマスを感じられる雰囲気ですセミナーを行うことができた。

父親や兄弟も参加してもらい、家族で有意義な時間を過ごせる機会を作れた。

人形劇と紙芝居ではみんな熱心に聞いている様子だった。

〇×ゲームプレゼント交換では、良い生活のためになるような問題を取り入れ楽しみながらもとても参考になった。

バルーンアートでは、今の季節ならではの雪だるま作りを行い、とてもかわいらしく仕上がり好評だった。

家族全員で参加できるイベントの企画は、今後も続ける方法で検討したい。



読み聞かせの様子



バルーンアートの様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:愛称 BP)

桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

①初めて子育てをする母親が、安心できる雰囲気の中で子どもとふれ合い親子の絆を深める。

②乳児期の育児について、不安などを共有しながら必要な知識を学ぶ。

③同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の生後2～5ヶ月の第1子（令和5年6月6日～10月5日生まれ）を育てている母親とその子

定員：14組（先着順）

開催場所：城南公民館（支所） 2階和室

在籍者数：14組 延べ参加数 50組

(3) 内容

回	日時	学習主・内容・方法等	講師
1	12/5（火） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	BP ファシリテーター （子育て支援課職員） 池田、根岸、堤保健師
2	12/12（火） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える	
3	12/19（火） 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防	
4	12/26（火） 10:00～12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に	

※各回 11時30分～12時は交流タイム

(4) 評価と反省

・最初は緊張気味だった参加者も徐々に打ち解け、交流タイムでは毎回話が尽きない様子であった。

・お互いにニックネームで呼び合う、プライバシーに配慮するなどのきまりもつくられ、進行配分もゆっくりで打ち解けやすい雰囲気づくりにも配慮されていた。

・母親同士の会話する時間が多く、お互いの悩み事などを知り、気持ちを共有することで、有意義な時間となった。

2 青少年体験・チャレンジ活動事業

桂萱サマーチャレンジスクール

(1) ねらい

- ①夏休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする。
- ②共同で学習や作業することで社会性を身につける。
- ③学校や学年を超えた交流や仲間づくりを図る。
- ④講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区に在住・在学の小中学生

周知方法：チラシ配布（地区内小中学校）、ホームページ、公民館報

受付：ホームページのフォーム、窓口、電話

延べ参加者数：362人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/25（火） 7/26（水） 9:00～11:00	「夏の絵画教室」 ～水彩画やポスターを 描いてみよう！～ 下絵（25日）、色塗り（26日）	講義 実習	桂萱学習グループ 桂の会（2名×2日） 前橋東高校美術部8名 学生ボランティア1名	①41 ②41
2	7/26（水） 14:00～16:00	「サイエンス教室」 ～野菜と酵素で ロケットを飛ばそう！～	講義 実験	NPO教育支援協会 北関東スタッフ2名 学生ボランティア2名	28
3	8/1（火） 10:00～11:30	「夏の書道教室」 ～「とめ」「はね」 「はらい」をマスター しよう！～	講義 実習	桂萱学習グループ 桂書道クラブ8名 学生ボランティア1名	41
4	8/2（水） 10:00～11:30	「陶芸に挑戦！」 ～オリジナルの器 （うつわ）を作ろう！～	実習	桂萱学習グループ 楽陶クラブ6名 学生ボランティア1名	22
5	8/2（水） 8/3（木） 13:30～15:00	「はじめてのプログラミ ング」（2日間） ～プログラミングの 仕組みを学んでみよう！～	講義 実習	NPO教育支援協会 北関東スタッフ2名 学生ボランティア1名 一般ボランティア1名	①30 ②22
6	8/4（金） 9:30～11:30	「七宝焼に挑戦！」 ～キーホルダーを 作ろう！～	実習	桂萱学習グループ 桂萱七宝クラブ5名 学生ボランティア4名	18
7	8/8（火） ①10:00～11:30 ②13:30～15:00	「わくわくクッキング」 ～おにぎらずを 作ってみよう！～	講義 実習	桂萱地区食生活改善推 進委員会14名 学生ボランティア3名	①17 ②11

8	7/22・29、8/5・ 12・19・26 (全て土) 9:00～11:45	「囲碁将棋教室」 ～ 将棋や囲碁を学んで 対戦してみよう！ ～	実習	桂萱学習グループ 桂萱囲碁将棋クラブ 学生ボランティア2名	①11 ②22 ③18 ④12 ⑤13 ⑥15
---	--	---------------------------------------	----	-------------------------------------	--

(4) 評価と反省

夏休みの講座への関心は高く、募集前から問い合わせが多くあった。申し込みは、ホームページのフォームと電話・窓口を併用して対応し、定員を上回る申し込みについては抽選を実施した。夏休みの前半は、多くの受講生が公民館に通い、賑やかな日が続いた。受付時に「楽しみにしていた」と駆け寄ってくる受講生もいて、期待感でキラキラしていた。どの講座でも講師の説明に聞き入り、一生懸命取り組む受講生の姿がまぶしかった。多くの講座でボランティアの参加があった。今年は、地区内の前橋医療福祉専門学校の協力があり、多くの学生が参加した。受講生や学生との交流に講師のモチベーションが上がった様子で、明るい雰囲気講座が進み、よい効果が生まれたと思う。複数の講座で講師から来年度の開催に向けた前向きな提案があった。次の開催でできるだけ採用していきたい。



「絵画」色塗りをしている様子



「科学」野菜ロケット発射準備の様子



「書道」お手本を見ながら実践



「陶芸」焼き上がりが楽しみ？！



「プログラミング」ブロック組合せの様子



「七宝焼」釉薬を銅板に盛る様子



「料理」おにぎらず調理の様子



「囲碁将棋」将棋の対戦の様子

桂萱オータムチャレンジ講座(赤城山ろく里山学校) 1

(1) ねらい

- ①屋外での収穫体験を通じて自然に親しみ、親子の絆を深めるとともに、食への興味や関心を高める。
- ②コロナ禍を乗り越えつつある子ども達の外出の機会とする。
- ③地元の農産物生産者や他の参加者と交流を図ることにより、地域理解を深める。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区在住・在学の小中学生とその保護者 10組

周知方法：タブレット配信（地区内小中学校）、ホームページ

受付：ホームページのフォーム、電話、窓口

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/21（土） 10:00～11:00	さつまいもほり体験	実習	協力：産直「味菜」	26

(4) 評価と反省

今年度も子育てセミナーとの合同開催を予定していたが、降雨の延期により予定が合わず、子育てセミナー受講生親子は不参加となったが、オータムチャレンジ講座受講生については、都合のつく兄弟姉妹や祖父母への変更も受け入れたため、参加者数をあまり減らすことなく開催できた。例年同様、草刈やつる切りなど産直「味菜」の支援があったため、組合長の説明後すぐにマルチを剥がし掘り始めることができた。掘り進め大きいものが出現すると「うわー！大きい。」と随所で歓喜の声があがった。参加者同士で「頑張って」「大きいのがとれたね」など、にこやかに会話をする様子が見られ、クモやバッタ、アリなどの虫に時々関心を寄せながら、未就学児も小学生、中学生、高校生、父母、祖父母も様々な年代の参加者が収穫を楽しむことができた。掘り終えた後は、配布したさつまいもレシピ（健康増進課提供）を参考にして料理を作りたいとの声が聞かれ、収穫物で料理を作ることや食べることを楽しみにしながら畑を後にする参加者の姿があった。アンケート結果から参加者の満足度の高さがうかがえ、開催できてよかった。



掘り方の説明を受けます



たくさんおいもができました

桂萱オータムチャレンジ講座 2

(1) ねらい

- ①いつもとは少し違う屋外での活動を通じて、親子の絆を深めるとともに、自然への興味や関心を高める。
- ②コロナ禍を乗り越えつつある子ども達の外出の機会とする。
- ③地元の公園で活動することにより、地域理解を深める。

(2) 対象等

前橋市在住の小学生とその保護者（小学生1名と保護者1名）8組

周知方法：チラシ（地区内小学校経由で児童に配付、窓口）

受付：ホームページのフォーム、電話、窓口

(3) 内容

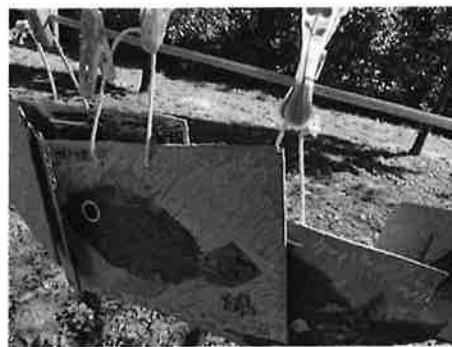
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/22(日) 10:00~11:30	荻窪公園で探検&工作 ～『たこさんのおはなしや』 でおなじみの田子先生と一 緒に公園で遊ぼう～	実習	田子 智代	8組

(4) 評価と反省

子育てセミナー向けの講座として計画したものだったが、定員に余裕があったため、地区内の小学生へ案内したところ申し込みがあり、合同開催となった。受付や講座運営で子育てセミナー運営委員の協力があつた。参加者は、落ち葉やどんぐりなどを集め、思い思いに段ボールに貼り付け、シールやマスキングテープなどでコラージュするなどして、作品を完成させていた。天候に恵まれ、秋の野外を満喫しながら、学習し、同世代の親子と交流することができた。



落ち葉を集めた後、遊具前で読み聞かせ



出来上がった作品の展示

桂萱ウインターチャレンジ講座

(1) ねらい

- ①冬休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする。
- ②共同で学習や作業することで社会性を身につけ、学校や学年を超えた交流や仲間づくりを図る。
- ③季節のイベントをより楽しむ。
- ④講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区在住または在学の小中学生

周知方法：タブレット配信（地区内小中学校）、チラシ

受付：ホームページのフォーム、窓口、電話

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/23（土） 10:00～12:30	「パティシエ体験」 ～ケーキをデコレーション してみよう～	実習	元・イタリアンシェフ 大島未来	18
2	12/27（水） 9:30～11:30	「書き初め教室」 ～太筆で大きな字を書いて みよう～	講義 実習	桂萱学習グループ 式部の会6名	13

(4) 評価と反省

パティシエ体験は、小学校低学年に人気があり、申込受付開始後すぐに定員に達した。講座では、泡立てやクリームを塗ることに時間を要したが、一生懸命泡立てて、お菓子やいちごで飾り、ケーキを入れた箱を愛おしそうに抱える受講生の姿や笑顔はとても微笑ましかった。人気のパティシエ気分を味わう、小学生憧れの体験が提供できた。

書き初め教室は、講師に書く時の筆遣いを教えてもらうことで、考えながら書き進めて、だんだんと大きく力強い字が書けるようになっていく受講生が多かった。受講生に対して講師の数が多かったため、講師が一人一人をまわり、丁寧に指導することができた。



クリームを塗っている様子



デコレーションしたケーキ



講師による説明の様子



実際に書いてみます

インリーダー・育成指導者講習会

(1) ねらい

①インリーダー講習会

今年度新たに子ども会のリーダーとして期待される小学生等を対象に、「子ども会とは」「リーダーの心構え」「集会の企画や運営」等を学習し、子どもが主体となって子ども会を運営できるインリーダーを養成の一助とする。

②育成指導者（初級指導者）講習会

子どもを指導・援助する育成者の指導者講習（初級指導者認定講習）を開催し指導者としての基本的な知識や技術の習得を図る。

(2) 対象等

桂萱地区内の子ども会に所属している子どもたちや育成会の保護者を対象

参加者：インリーダー講習 17人・育成指導者講習 8人

(3) 内容 開催日：7月9日（日） 午前9時～午後3時

概 要			
時 間	インリーダー講習会（子ども）	時間	育成会指導者講習（大人）
9：00～	■受付開始		
9：30～	■開会式（内容説明等）		
9：40～10：10	■講習 【ホール】 ・KYT 講習（危険予知訓練トレーニング） 講師 市子連役員、桂子連役員	9：40～10：30	■講習Ⅰ 【会議室】 「メディア（ケータイ・スマホ）の使い方を考えよう！」 講師 前橋市教育委員会 教育支援課職員
10：15～11：00	■調理実習 【調理実習室】 ・カレー作り		
11：10～11：40	■実技講習 【ホール】 ・すぐに役立つレクリエーション 講師 市子連役員、桂子連役員	10：40～11：40	■講習Ⅱ 【会議室】 ・KYT 講習（危険予知訓練トレーニング） 講師 市子連役員、桂子連役員
11：50～12：40	■昼食・交流会 【会議室・ホール・公民館敷地内等】 ※お昼は、調理実習で作成したカレーになります。		
12：45～14：40	■実習 ウォークラリー 桂萱公民館出発— 徒歩 —上毛電鉄（上泉駅：12：52発）—電車—（江木駅：12：59着） ※ウォークラリー CP1～CP5 （☆途中 飲み物を用意します） →全チームが桂萱公民館着		
14：50～15：00	■閉会式 子ども会インリーダー講習会 修了証・参加証の交付 ※育成指導者講習修了証については前橋市青少年課より届き交付します。		

※講習Ⅰ「メディア（ケータイ・スマホ）の使い方を考えよう！」

スマートフォンや携帯ゲーム機等でのインターネット利用の便利さと、利用

により失ってしまうもの、ケータイやインターネットの利用に必要な力について学びます。

(4) 評価と反省

インリーダー講習会は、毎年参加してくれる子どもも多く高学年が低学年の面倒をみながら講習会へ参加してくれたため、参加者みんなが一日を通して講師の話を実心実意に聞きとっており学習態度はとても良好でした。

今回の育成指導者講習会は、まえばし出前講座を活用した「メディア（ケータイ・スマホ）の使い方を考えよう！」との演題で教育支援課職員による講座を行い、子どものスマホの使用の現状や懸念されること、親の心構えなどについての説明を参加者は真剣に受講していました。また KYT 講習など子どもと大人のそれぞれの講座やウォークラリーを通じて、活動の中での危険な事やケガの予防知識の習得、みんなで協力して問題を解いたりするなどを通じてこれからの子ども会活動に必要な基礎を学んだ充実した講習会となりました。

子どもたちには、インリーダー講習を通して、自分たちが主体となって子ども会を運営していくための知識や技術を学び、これから積極的に子ども会のリーダーとして活躍してもらいたい。

大人たちには、育成指導者講習を通して指導者能力の向上を図り、その能力を日頃の育成会活動において発揮してもらいたい。

今後は、参加者のニーズに応じて内容の充実を図り、指導者養成、リーダー養成に努めていきたい。

●インリーダー講習



KYT講習：危機予知訓練トレーニング



すぐに役立つレクリエーション



調理実習



出来上がったカレーライス

●育成指導者講習会



講習「メディアの使い方」



KYT講習：危機予知訓練トレーニング

●実習 ウォークラリー



桂董公民館出発



上電で江木駅へ移動



チェックポイント



ウォークラリーゴール

3 学び合い、人権、地域ふれあい事業

地域ふれあい講座「健康グラウンドゴルフ講座①」

(1) ねらい

①誰でも気軽に参加できる軽スポーツである「グラウンドゴルフ」を通じて、自らの健康維持やフレイル予防のための運動の大切さ、習慣化への理解と関心を深めるとともに、競技を通じて参加者の健康づくり、体力づくり、免疫力の向上に寄与する。

②地域の住民同士が親睦や交流を深めることにより、住みよい地域づくりのための一助とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報に掲載、公民館内に掲示

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
7	5/17、5/24、 5/31、6/7、 6/21、6/28、 7/5 の7回 各水曜日 9:00～10:30 ※6/14 は中止	9時00分～ 受付、グループ分け、 注意事項、ゲーム開始 10時30分～ グラウンド整備片付け	体験 実技	特になし	7回 のべ 151

(4) 評価と反省

毎年恒例の事業であるが、天候の影響で予定していた1回が中止となった。屋外での事業のため、当日は降っていなくても前日までの雨でグラウンドコンディションが不良の場合もあり、仕方ないことと考えている。

今期も参加者は慣れている方が多く、初めての方も含めて参加者同士の交流や親睦を深めながらスムーズに実施することが出来た。

毎回20人前後の方が参加してくれるようになり、参加者同士のコミュニケーションも活発になってきた。

また、夏休み明けから2回目を開催できるよう準備をしていきたいと思う。



マスク着用で楽しくプレイ



群大生も体験で参加してくれました

人権七夕飾り

(1) ねらい

- ①短冊に文字として書くことにより、人権に対する興味・関心を高める。
- ②七夕飾りを通して人権尊重の意義を広く来館者に周知する。
- ③人権啓発方法の手法拡大を図る。

(2) 対象等

趣旨：様々な角度から人権啓発事業を推進する機会として、人権七夕飾りを館内に設置することにより来館される地域の方々に「自分の願い事」と併せて「人権に関する願い事」を記入した「願い事短冊」を作成いただき、七夕の時期に家族や友人とともに、人権問題に思いを寄せていただく企画として七夕飾りを設置する。（短冊募集期間：6月5日～7月4日）

周知方法：公民館報「桂萱」・館内への募集チラシ掲示

開催場所：桂萱公民館ロビー

参加者数：合計147名（短冊枚数）

(3) 内容

回	設置月日	学習主題・内容	人数
1	6/16（金）～ 7/7（金）	来館者等が人権に関する願い事等を短冊に記載したものを竹に取り付け、桂萱公民館ロビーに七夕飾りとして設置する。人権に関する願い事のテーマは「心のバリアフリー」とする。	147

(4) 評価と反省

今回で6回目となる七夕の時期の人権啓発事業として、人権七夕飾りとして地域住民や来館者に短冊などに人権に関する願い事を記載していただいた。

今年も長引くロシアによるウクライナ侵攻を受け早期の解決や平和に対する願い、お互いに尊重する心を持つことや健康、家族の幸せなどの願いが今回の

短冊を通して数多く集まりました。また、七夕飾りと同時に共生社会推進課所有の人権啓発パネル（前橋空襲の記憶パネル）を展示することによる相乗効果により広く多くの方に人権に関する関心を高めることができたと感じました。



人権七夕飾り



同時展示の人権パネル展

地域ふれあい講座「知的書評合戦 ～第4回桂萱ビブリオバトル～」

（1）ねらい

- ①本を通して地域のコミュニケーションを高める。
- ②読書の楽しみを共有し世代を超えた交流の機会とする。

（2）対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報の他、上毛新聞やFMぐんまなどで募集PR

また、地区内の中学校、高等学校や県立図書館などにチラシを依頼

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（要時録）	人数
1	6/18（日） 10:30～12:00	読書の楽しみを共有する手段として関心を集めているビブリオバトルを通し、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに自主的・自発的な読書活動の推進を図る。	体験	特になし	37

（4）評価と反省

昨年に続き、図書館分館が併設する公民館の特色を生かして行うビブリオバトルの4回目。普段公民館を利用する機会の少ない若年層の参加をねらい、今回も地区内の3つの高校や2つ中学校の他、市立と県立図書館や前橋市高校生

学習室にもチラシ掲示を依頼した。

今回のパトラーには、ネット情報を見て申込みしてくれた静岡県の高校生や群大生の参加があった。また、以前に参加していただいた方の再戦もあり、幅広い年層のバラエティに富んだ内容で、とても充実していた。観戦者についても、毎回楽しみにして来てくれるような方も多く見受けられた。

最後に、市立図書館が行っている電子図書館のPRもでき、終了後には、紹介された本について語り合うようなコミュニケーションも見受けられた。

この講座を続けてきた成果として、地域の読書文化が育ってきたように思う。



7人のパトラーが本を紹介しました



多くの方に参加していただきました

前橋ゆかりの詩人パネル展

(1) ねらい

- ①萩原朔太郎をはじめとした前橋ゆかりの詩人についてパネル等で紹介することにより文学への興味や郷土愛を高める。
- ②地区文化学習グループなどの紹介も行い、文化活動への興味・関心を推進する。
- ③公民館ロビーの有効活用を図る。

(2) 対象等

対 象 者：公民館来館者

周知方法：公民館報柱登、生涯学習課Instagram等

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	人数
1	8/3(木) ～8/22(火)	前橋ゆかりの詩人 パネル展示	展示	土屋文明記念文学館 (展示パネル借用)	—

(4) 評価と反省

今回初めて前橋市出生や出身の著名な詩人に注目し、普段なかなか触れる機会のない萩原朔太郎・萩原恭二郎・伊藤信吉・高橋元吉などの文学者の生い立ちや紹介、作品についての解説パネル展示など実施しました。来館者は大型のパネルやタペストリーに詳しく書かれた詩人の紹介などを熱心に観覧している方も多く、また同時に配架してある前橋文学館のパンフレットや萩原朔太郎関連のチラシなどを手にとる方も多くみられました。

この事業により県文化施設である土屋文明記念文学館と連携することで、地域の文化や詩人への興味・関心などを高めることができたと感じました。



展示の様子

いきいきシニアスクール

(1) ねらい

- ①高齢者が人権について考え、こころ豊かに日々の生活が送れるようにする。
- ②教室で学んだことを活かし、実生活を健康的に過ごせるようにする。
- ③参加者同士の仲間づくりとして、交流や学びの場を提供する。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住、在勤（概ね 60 歳以上の方）

桂萱地区老人クラブ連合会 会員

周知方法：桂萱地区老人クラブ単位老人クラブ、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/10(木) 10:00～11:30	上州女性哀史と民話	講話	民俗研究家 酒井 正保	43
2	8/21(月) 10:00～11:30	古典落語を 聞いてみよう	講話	前橋素人落語協会 久保原 秀人	43

3	8/29(火) 10:00～11:00	群馬は温泉パラダイス	講話	温泉ライター 小暮 淳	32
4	9/4(月) 9:00～11:30	高齢者のための 健康づくり講座	講義実技	群馬県ライフル 橋本 大介	26

(4) 評価と反省

桂萱地区老人クラブ連合会と連携し講座の周知・希望者のとりまとめ・受付等の協力をいただき実施した。

1回目の講義については、初めて聞く話や驚く内容の話もあったが、興味深く聞いているようであった。辛い内容もあったため、アンケートに「聞きたくなかった」との厳しいご意見もあった。

2・3回目の講義は落語と群馬の温泉について、という内容もあり、終始楽しく聞いているようであった。特に落語では地元の上泉伊勢守を題材にした演目もあり、大変喜ばれていた。

講演後も参加した老人クラブ会員の方は、久しぶりに集まったことで楽しそうに歓談しており、ねらいである交流や学びの場を提供することができた。

4回目は健康的な生活を送るための食事改善の話と、実際に体を動かす講座で、ストレッチは先生が分かり易く運動方法を説明し、参加者を回りながら指導していただいた。日頃やったことのない動きであったり使っていない筋肉を伸ばしたりと少々大変そうではあったが、先生にコツを教えていただき、徐々に慣れてきた様子だった。

たった1回の運動でも腰などがスッキリして楽になったと好評であり家庭でも気軽に健康づくりができるように、友達にも教えてあげたいと言って、資料をもらって行く方もおり、日々の生活で生かせる講座となった。

今回の講座の参加者は殆どが老人クラブの方で、一般の方はひとりだけだった。講座終了後、参加者が「楽しい講座が一番いい」と言っていたのが印象的だった。今後も一般の方も参加しやすく、高齢者の方に楽しんで学んでいただける内容の講座を行いたいと思う。



古典落語を聞いてみよう



高齢者のための健康づくり講座の様子

今から取り組もう！防災講座

(1) ねらい

地球温暖化によるゲリラ豪雨や大型台風、日本全国で最近頻発している地震等による災害はいつ自分の身に起こるか分からない。そこでもう一度「防災」について学び、家族による防災力を高めることを目的とする。

(2) 対象等

対象：市内在住・在勤・在学の人、先着各30人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/27(日) 10:00～11:30	風水害に備える 防災脳を活性化 講座	講義	明治安田生命保険相互 会社群馬支社前橋営業 所長 堀 宏雄	13
2	9/3(日) 10:00～11:30	予想ができない 地震に備える！ もしものときの アクションプラン 講座	講義	明治安田生命保険相互 会社群馬支社前橋営業 所長 堀 宏雄	10

(4) 評価と反省

「風水害に備える防災脳を活性化講座」は、台風や大雨のシーズンに合わせて受講生の募集を行った。募集中にも各地で大雨等による被害の報告がされていたが、あまり参加者が集まらなかった。命や生活を守る大切な講座なのでもう少し需要があると思ったが、住民のニーズとは一致しなかった。講座の内容については、現在は過去の常識が通用しない規模で災害が発生している。そこで災害を自分ごととしてとらえ、日頃から災害に対する心構えをし、災害に対する準備をしっかりとしておきましょうというものだった。

「予想ができない地震に備える！もしものときのアクションプラン講座」は、関東大震災から100年目に当たる9月1日の「防災の日」に合わせて実施した。しかし、「風水害に備える防災脳活性化講座」同様に、啓蒙的な講座には興味がないのか、あまり受講者が集まらなかった。講座の内容については、「地震のメカニズム」「地震発生時の対応」「地震に対する事前準備」等について学んだ。非常時にハンカチやレジ袋などを活用する方法を学んだり、実習で新聞紙のスリッパを作ったりするなど、とても実用的な講座だった。

両講座ともとても勉強になる重要な内容だったが、受講者は少なかった。今回、受講者が少なかったという反省を踏まて、今後は住民のニーズの把握に努めて、多くの人が受講する講座の開催を目指したいと思う。



講師の堀宏雄先生



講座全体の様子



新聞紙でスリッパづくり



休憩時間にベジチェック等の検査も

地域ふれあい講座「健康グラウンドゴルフ講座②」

(1) ねらい

①誰でも気軽に参加できる軽スポーツである「グラウンドゴルフ」を通じて、自らの健康維持やフレイル予防のための運動の大切さ、習慣化への理解と関心を深めるとともに、競技を通じて参加者の健康づくり、体力づくり、免疫力の向上に寄与する。

②地域の住民同士が親睦や交流を深めることにより、住みよい地域づくりのための一助とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報に掲載

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
12	9/13、9/20、 9/27、10/11、 10/18、10/25、 11/1、11/8、 11/15、11/22、 11/29、12/6 の12回 各水曜日 9:00～10:30 ※10/4は中止	9時00分～ 受付、グループ分け、 注意事項、ゲーム開始 10時30分～ グラウンド整備片付け	体験 実技	特になし	12回 のべ 309

（４）評価と反省

6～7月に行った事業の今年度2回目。

今回は天候に恵まれて、予定していた13回のうち雨天による1回だけの中
止で、12回実施することが出来た。

前回から参加の方に加え、新たに参加していただいた方も多く、参加者同士の
交流や親睦を深めながらスムーズに実施することが出来た。

普段は交流の少ない、いろいろな町の方々に参加いただき、地域のコミュニ
ケーションの活性化にも役立っていると思う。

また、年明けから3回目を開催できるよう、準備をしていきたい。



おしゃべりが楽しい休憩時の様子



たくさん歩いて健康維持

桂萱手をつなぐロビー展2023

（１）ねらい

前橋市手をつなぐ育成会の活動パネル展示並びに前橋特別支援学校児童生徒の美術作品展を同時に実施することにより、来館者へ障がい者理解を深め

るとともに、福祉作業所製品の特別販売会を通して障害福祉や人権に対する興味・関心をより一層高める。

(2) 対象等

【障がい者理解】前橋市手をつなぐ育成会の活動パネル展示
前橋市社協・第一福祉作業所製品の特別販売会

【特別支援教育】前橋市特別支援学校児童生徒の美術作品展

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/20（水）～ 10/2（月）	活動パネル展示	展示	前橋市手をつなぐ育 成会	—
2	9/20（水）～ 10/2（月）	美術作品展	展示	前橋特別支援学校	—
3	9/20（水） 9:30～11:30	福祉作業所製品の 特別販売会	販売	第一福祉作業所	—

(4) 評価と反省

公民館ロビー活用並びに障がい者理解及び特別支援教育に係る啓発として各団体活動パネルや作品展示を障がい者理解の啓発等のため実施しました。

また、9月20日（水）のみの期間限定で実施した福祉作業所製品の特別販売会では多くの来館者が興味を示し、物販製品を手に取りながら作業所職員による製品説明を熱心に聞いている方などもおり、数多くの製品を購入していただくことができました。

今回前橋市手をつなぐ育成会、特別支援学校、福祉作業所物販などコラボして実施することにより、より一層地域住民に対して障害福祉や人権に対する啓発を実施できました。



手をつなぐ育成会展示展



物品販売

人権の願いin文化祭

(1) ねらい

- ①文字として書くことにより、人権に対する興味・関心を高める。
- ②文化祭というイベントを通して人権尊重の意義を広く来館者に周知する。
- ③人権啓発方法の手法拡大を図る。

(2) 対象等

趣旨：様々な角度から人権啓発事業を推進する機会として、桂萱地区文化祭開催時に来館される地域の方々に「人権に関する願い事」を用紙に記入していただき、その用紙を専用の人権の願いシート(パネル)に張り付けてもらい、文化祭開催期間中に公開することによって多くの方に人権問題に想いを寄せていただく企画として設置する。(文化祭実行委員会の協力により実施)

周知方法：文化祭開催時に特設コーナーを設置

開催場所：桂萱公民館ロビー

参加者数：合計63名(記載枚数)

(3) 内容

回	設置月日	学習主題・内容	人数
1	10/29(日)	桂萱地区文化祭開催時に来館される地域の方々に「人権に関する願い事」を用紙に記入していただき、その用紙を専用の人権の願いシート(パネル)に張り付けてもらう。	63

(4) 評価と反省

今回初めて人権啓発事業として桂萱地区文化祭開催にあわせ「人権の願いin文化祭」として人権の願いシートを公民館ロビーに設置し、来館者には人権に関する願い事を専用の用紙に記載していただき貼りつけていただいた。

貼りつけていただいた内容として「みんななかよく」「差別しない」などの願いが今回の企画を通して集まりました。また、文化祭開催時に実施したため、未就学児から高齢者までの幅広い年代の人が人権の願いについて参加していただき、またその場で展示したことにより広く多くの方に願いを見ていただくことで人権に関する興味や関心を高めることができたと感じました。



文化祭ボランティアによる運営



寄せられた人権の願い

地域ふれあい講座「知的書評合戦 ～第5回桂萱ビブリオバトル～」

(1) ねらい

- ①本を通して地域のコミュニケーションを高める。
- ②読書の楽しみを共有し世代を超えた交流の機会とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報の他、上毛新聞やFMぐんまなどで募集PR

また、地区内の中学校、高等学校や県立図書館などにチラシを依頼

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（教員等）	人数
1	11/19（日） 10:30～12:00	読書の楽しみを共有する手段として関心を集めているビブリオバトルを通し、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに自主的・自発的な読書活動の推進を図る。	体験	特になし	20

(4) 評価と反省

6月に続き通算5回目となる事業。今回も公民館報の他、地区内の2つの中学校と3つの高等学校や県立図書館などにチラシを依頼して周知に努めた。また、上毛新聞やFMぐんま、インターネットのイベント情報サイトへの情報提供の他、アクエル前橋の高校生学習室にも案内を掲示した。

今回は桂萱地区地域づくり推進協議会の事業が重なったり、予定していたパトラーがインフルエンザで欠席したりして、参加者が少なかった。

しかし、高校生の参加や、以前に参加していただいた方の再戦があったりして、バラエティに富んだ内容だった。

観戦者の方は、毎回楽しみにしてくれている方も出来てきた。また、終了後に紹介された本について語り合うようなコミュニケーションも見受けられた。

去年から続けてきた成果として、地域の読書文化が育ってきたように思う。



5人のパトラーが本を紹介しました



高校生の参加もありました

お金の講座

(1) ねらい

令和6年1月から開始された新NISA。年間投資上限額及び最大利用可能額がアップし、投資期間も恒久化されるなど、以前のNISAに比べて大変使い勝手が良いものになった。そこで新NISAの概要や新NISAを活用した運用方法などについて学び、投資の知識を高めて、今後のライフプランを考える一助としていただくことを目的とする。

(2) 対象等

対象：市内在住・在勤・在学の人、先着30人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/9(土) 10:00～11:30	新NISAを学ぶ	講義	日本証券業協会 金融・証券インストラクター 阪尾 進	29

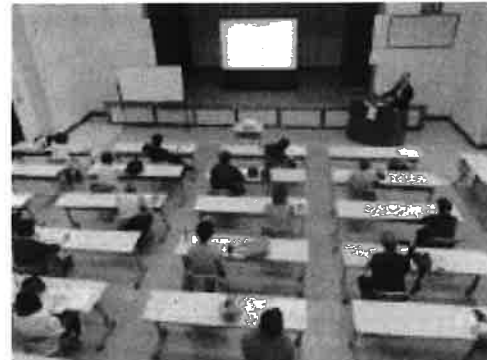
(4) 評価と反省

今回の講座は、令和6年1月から開始された「新NISA」をテーマに選んだ。話題になっていて興味を引くテーマだったのか回覧板を回すこともなく、館報のみの周知で募集人数に達することができた。また、受講者も40歳代、50歳代が多く、高齢者ではない人にも公民館に足を運んでもらうことができた。講座の内容は、新NISAの概要、投資の必要性、投資方法などについて説明していただいた。講座の依頼時に、新NISAの概要説明、口座の開設方法、新NISAを使った運用方法の順番での説明を希望する旨を伝えたが、希望は通らずに今までのテキストのNISAの部分を新NISAの概要に変更しただけのようだった。無料の講座ではあまり多くを望むことは難しいと感じた。今回は受講者が簡単に定員に達するだけでなく、60歳未満で受講者の多

数を占めることができたことから、テーマ選びの重要性を痛感した。今後も市民のニーズを把握し、受講者が興味を持てる講座の開催に努めたいと思う。



講師の阪尾進先生



講座全体の様子



ホワイトボードを使った説明も



真剣に講義を聞く受講者

わくわく交流ワークショップで楽しもう&桂萱公民館へ行ってみよう！

(1) ねらい

募集した小・中・高・専門学生・大学生（小学生は5・6年生）の若い世代によるワークショップ店長（ボランティア）により、ワークショップをとおして幅広い年代との世代間交流の促進や、地域住民が公民館に来館する機会の一助とする。

(2) 対象等

対 象 者：どなたでも

参 加 料：無 料

周知方法：館内チラシ、公民館報桂萱、生涯学習課インスタグラム等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	協力者	人数
1	12/10（日）	ワークショップ等 ・ ECOロジ栽培キット ・ バルーンアート ・ うちわに模様をつけよう ・ 黒板アート ・ 型抜きチャレンジ ・ ポップコーン無料配布	体験 交流	○一般ボランティア ・ 専門学校生4人 ・ 高校生1人 ○食生活改善推進員1人 ○保健推進員1人 ○桂萱地区地域づくり推進協議会（資材提供）	延べ 210人

（4）評価と反省

今回初めて桂萱地区地域づくり推進協議会と共催にて世代間交流事業として、また地域住民の公民館へ来館・周知・使用促進を目的にワークショップを開催しました。

ワークショップを実施するにあたり、経験者や職業講師に依頼を検討しましたが世代間交流の幅を広げるため未経験者でも少しの公民館職員からのレクチャーで実施できるワークショップを選定し、ボランティアを募集して対応しました。

当日は桂萱地区子ども会書画展も公民館で開催されており、その流れでワークショップも盛況となり、ボランティアも最初是对応がぎこちなかったが、すぐに慣れて子どもやお年寄りの目線に立って率先してバルーンアートや型抜きなど親切に対応していたことやポップコーン等の無料配布など参加者から好評を得ていました。

今回の実施状況を踏まえ、次年度もこのような交流の場や公民館の利用推進の事業を実施したいと感じました。



ECO ロジ栽培キット



バルーンアート

地域ふれあい講座「健康グラウンドゴルフ講座③」

(1) ねらい

①誰でも気軽に参加できる軽スポーツである「グラウンドゴルフ」を通じて、自らの健康維持やフレイル予防のための運動の大切さ、習慣化への理解と関心を深めるとともに、競技を通じて参加者の健康づくり、体力づくり、免疫力の向上に寄与する。

②地域の住民同士が親睦や交流を深めることにより、住みよい地域づくりのための一助とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報に掲載

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
8	1/17、1/24、 1/31、2/7、 2/14、2/21、 2/28、3/6 の8回 各水曜日 9:00～10:30	9時00分～ 受付、グループ分け、 注意事項、ゲーム開始 10時30分～ グラウンド整備片付け 来た方の健康状態を確認した 後、ゲームを行ってもらった。 マスク着用のうえ大声を出さ ないように注意をして実施した。	体験 実技	特になし	

大人のための音楽物語

(1) ねらい

①日頃接することのないプロの演奏家によるコンサートを、地元で楽しむ機会を提供する。

②音楽と紙芝居による朗読を聴くことで、新たな趣味や生きがいの発見を促す。

③様々な人が集まる場を提供することで、新たな友人づくりの一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住・在勤・在学の人、先着80人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/20 (土) 10:30~12:30	①メリーポピンズ バイオリン・ヴィオラ 及びピアノの演奏と、 大きな紙芝居の朗読で 鑑賞する ②名作の「かげ」に名 曲あり！～あなたのお 気に入りの映画は？ 映画音楽を中心にバイ オリンやヴィオラの演 奏で楽しむ	音楽鑑賞	ビオラ奏者 井桁 正樹 ピアノ奏者 峰岸 小織 朗読 田中 美貴子 (城南公民館職員)	73

(4) 評価と反省

今回の講座である「メリーポピンズ」は、昨年度大好評だった「サウンド・オブ・ミュージック」に続く「大人のための音楽物語」第2弾。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しなくて良かった今年度は、受講人数を昨年度より20人増員した80人で募集したが、5日間で定員となるほどの盛況ぶりだった。今回も多く受講者が、井桁先生や峰岸先生の奏でる音色に聞き入っており、地元の公民館でプロの演奏家によるコンサートを楽しんでいただく良い機会となった。先生方も昨年度の好評に応えてくれ、桂萱公民館の受講者のためにお馴染みの映画音楽の演奏に挑戦してくれた。今回も満足度が高い結果となったことから、来年度以降もニーズがある限りは本講座を継続しようと考えている。



峰岸先生と井桁先生の演奏



朗読する田中先生



素敵に演奏に聞き入る受講者



講座の全体風景

夢エピソード募集事業

(1) ねらい

- ①日々の生活に寄り添う夢を文章や絵等で表現することにより、明るい未来に思いを馳せる。
- ②コロナ禍を経て再構築された考え方や生き方を知る機会とする。
- ③発表を通して、地域の人の夢を知ること、多種多様な願いや思いを潤いある地域活動に生かす。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区に在住、在学、在勤の方

周知方法：地区内の児童生徒へチラシ配布（小中学校経由）、公民館報、窓口、ホームページ

応募受付：公民館窓口へ直接提出、FAX、メール

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/20（水） ～ 1/26（金）	夢にまつわる「幸せエピソード」（最大100字程度）や絵、写真等を募集	制作	応募者	110
2	3/7（水） ～ 3/25（月）	作品をロビーにパネル展示 「Dream 夢ゆめ」～夢にまつわる幸せエピソード展 125～ 作品集作成・配布	展示	桂萱小、桂萱東小 桃瀬小、桃木小 桂萱中、鎌倉中 市立前橋高校 県立前橋高校 県立前橋東高校 地区内書道教室 社会福祉協議会	125 作品 + 1183 人

人権教育に係る児童生徒作品を掲載

桂萱地区の小中学校（桂萱小学校・桃木小学校・桂萱東小学校・桃瀬小学校・桂萱中学校・鎌倉中学校）の協力を得て、児童・生徒のつくった人権標語作品を公民館報「桂萱」にて紹介している。

実績：令和6年1月1日号～3月1日号にかけて、36点の人権標語作品を掲載予定。

4 生涯学習奨励員活動支援事業

かがやふれ愛コンサート

(1) ねらい

- ①地域文化の向上を図る。
- ②地区内高校生と連携することによって、世代間の交流を図る。
- ③文化祭に合わせて開催することにより、生涯学習奨励員の活動を地域住民にアピールする。

(2) 対象等

対象：生涯学習奨励員、文化祭来場者等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/28(土) 14:00～15:00	前橋高校及び前橋工業 高校吹奏楽部による演 奏	コンサ ート	前橋高校及び前橋 工業高校吹奏楽部	100

(4) 評価と反省

「かがやふれ愛コンサート」は文化祭の一つの催しとして、地区内にある高校4校の吹奏楽部へ毎年度順番に演奏を依頼して開催している。今年度は前橋高校の順番であったが、開催日が「県民の日」と重なり、理系の生徒が研修で参加できないことから人数が揃わず、前橋高校吹奏楽部が日頃から交流している前橋工業高校吹奏楽部へ共演を依頼しての開催となった。

新型コロナウイルスの影響を受けていた昨年度も盛況だったが、今年度は開場前から多くの人が列を作り、沢山の立ち見の人が出るほど大盛況だった。また、生徒たちもそれぞれの学校の特徴を出しながら、共演を楽しんでいた。



前高・前工の共演は大盛況に



両校の生徒が進行も実施

ふるさと探検調査

(1) ねらい

- ①それぞれの地域内にある名所や旧跡等を学ぶきっかけを作る。
- ②地域内にある名所や旧跡等を学ぶ過程で地元の人との交流を図る。
- ③生涯学習奨励員の活動をアピールして認知度を高める。

(2) 対象等

対象：生涯学習奨励員

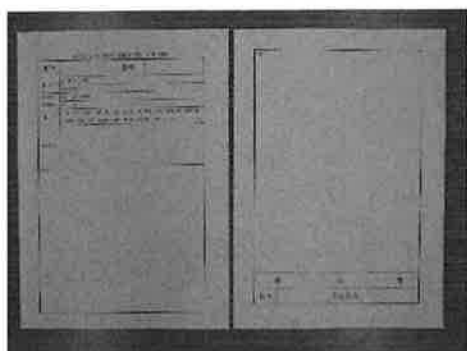
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	調査期間 7/29（金） ～12/28（水）	地域内を散策して名所・旧跡等を調べ、その成果を基に調査票を作成する。	調査・実習	自治会内の名所・旧跡等関係者	21

(4) 評価と反省

5月20日に行われた総会において、今年度の事業計画として副会長からそれぞれの奨励員が自分の地域に、どのような名所・旧跡等があるか学んではどうか。それを基にゆくゆくは桂萱地域の名所・旧跡等を回るウォーキングコースを作成してはどうかと提案があった。その後、役員会で調査票や今後の日程等を協議し、7月29日に行われた連絡会議で詳細が決定した。

奨励員それぞれの知識、能力、熱意がまちまちなため、提出期限の12月28日時点で提出は半数程度である。役員会の時に講習会の開催を提案したが断られた。役員を説得して講習会を開催していれば、もう少し意思統一が図れたか。今後未提出の奨励員に提出をお願いして、来年度以降のウォーキングコース作成につなげていきたいと思う。



奨励員が作成する調査票



多くの名所・旧跡等を調査

スマホ講座

(1) ねらい

- ①地域で生涯学習活動を推進するにあたり、幅広く貢献できるように生涯学習奨励員の研修を行う。
- ②生涯学習奨励員のスマートフォン操作のレベル向上を図る。

(2) 対象等

対象：生涯学習奨励員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	1/30（火） 10:00～12:00	スマートフォンの基礎操作及びL A I Nの基礎を学ぶ	講義	NPO教育支援協会 北関東	

(4) 評価と反省

市未来政策課よりスマートフォンの操作に自信のない高齢者や身近な方に、スマートフォンの操作方法を教える意欲のある生涯学習奨励員を対象とした、スマートフォン講座を開催したい旨の依頼を受けたことにより実施した。

奨励員のスマートフォンの操作能力が一定していないために会長と相談した結果、「スマートフォンの基礎操作及びL A I Nの基礎」をテーマに学ぶことになった。しかし、比較的若い人を中心に欠席者が多く見られた。レベルが一定していない講習会のテーマ設定は難しいと感じた。

5 桂萱地区文化祭

桂萱地区文化祭

(1) ねらい

テーマ・スローガン：「文化祭 世代をこえて 絆をふかめ」

- ①桂萱地区地域づくり活動促進事業の一環として、地区内で各種学習活動に励む市民や団体、グループ等が一堂に会し、日頃の練習成果、学習成果を発表し合い、団体相互間の交流を深める。
- ②活動内容を広く市民に公開し、芸術文化への興味関心を高め地域文化の向上を図る。
- ③住民同士の連帯意識の醸成や絆を深め、住みよい地域づくりに寄与する。

(2) 概要

事業名：令和5年度 第43回桂萱地区文化祭

場 所：桂萱公民館

主 催：第43回桂萱地区文化祭実行委員会

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
10/21 (土) 11:00～15:30	フロア発表	太極拳、社交ダンス 5団体の出演 95人	2,500人 延べ来場者数
10/28 (土) 9:00～15:00 10/29 (日) 9:00～14:00	作品展示	水彩画、洋画、短歌、書道、七宝焼、陶芸 古文書、歴史、ガールスカウト活動展示等 10団体の作品 116点 105人	
10/29 (日) 9:00～11:40	舞台発表	吹奏楽、合唱、フォークダンス、フラダンス、民舞、手話コーラス、八木節、ハーモニカ、園児による遊戯、民謡、ピアノ、ケーナ演奏など 22団体の出演と個人参加 250人	
10/28 (土) 14:00～15:00 10/29 (日) 9:00～14:00	その他	かいがやふれ愛コンサート（県立前橋高等学校・前橋工業高等学校吹奏楽部合同出演）、囲碁将棋コーナー、各種模擬店・物品販売、試食配布、地区内小・中・特別支援学校児童生徒の書画展、リサイクル本の無料配布、パネル展示、ブーメラン作り、健康マージャンコーナー、人権の願い、クイズラリー、大抽選会など 16団体 154人	

(4) 評価と反省

第43回桂萱地区文化祭についてコロナ禍を乗り越え昨年に引き続き開催しました。この文化祭を開催することにより、桂萱地区内で学習活動に励む個人や団体、学習グループ等が一堂に会し、コロナ禍となっても継続してきた日頃の学習成果を発表し合い、団体相互の交流を深めることができました。

また、その活動内容を広く地域市民に公開することにより、住民の芸術文化への興味関心を高めるとともに、前回から新設した太極拳・社交ダンス団体によるフロア発表部門、また昨年よりも出演団体の増加した舞台発表、作品展示の実施や各種団体による模擬店の復活、学習グループによる陶芸・七宝焼きなどの譲渡販売会、図書館桂萱分館によるリサイクル本の無料配布や新たに健康マージャン体験などを実施し、多くの来場者を呼び込むことができ地域文化の向上と住みよい地域づくりに寄与することができました。

文化祭に参加した中学生並びに一般ボランティアは、文化祭を通して普段接することがない地域の多くの人と接することができ、思い出に残るよい経験をしたのではないかと感じました。

今後も、引き続き地域住民と力を合わせて地域の絆を深められる伝統のある文化祭を開催していきたい。



作品展示



フロア発表



ふれ愛コンサート



舞台発表

6 自主学習グループ支援事業

第1回グループリーダー研修(野外研修)

(1) ねらい

- ①自主学習グループ会員同士の交流の機会として、学習の場を設けることにより、グループ活動の活性化を図る。
- ②公民館の外へ出かけて新しい知識を増やすことより、教養を高めるとともに学習活動の楽しみを広げる機会とする。

(2) 対象等

対象：桂萱学習グループ連絡協議会に所属するグループの会員

周知方法：チラシ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	5/23(火) 7:00~19:10	「野外研修」 ～長野県安曇野方面～	見学	—	34

(4) 評価と反省

学習グループ連協役員が中心となり、長野県安曇野方面への野外研修を実施した。コロナ禍の中止を挟み、久しぶりの開催となったが、車中ではハーモニカクラブによる演奏があったり、全員で「早春賦」や「ふるさと」を歌ったり、ガイドさんから真田氏の歴史の説明を受ける等、学習グループらしい研修ができた。見学先では、わさびやワイン、味噌の知識も増え、見学や食事の際には参加者同士の交流も図れた。役員や参加者からは、開催できてよかった、楽しかった等の明るい感想がいくつも出された。なお、参加費用については、全て参加者負担とした。



岩崎ちひろ美術館前で集合写真撮影



みそ蔵の様子

第2回グループリーダー研修(教養講座)

(1) ねらい

- ①新たな連絡手段の構築により、会員相互や役員の負担軽減を図る。
- ②自主学習グループ会員同士の交流の機会として、学習の場を設けることにより、グループ活動の活性化を図る。
- ③スマートフォンの知識を増やすことで、学習活動の可能性を広げる。

(2) 対象等

対象：桂萱学習グループ連絡協議会に所属するグループの会員

周知方法：チラシ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/26（月） 9:30～11:30	「スマホの活用」 ～LINEを使って 連絡をスムーズに～	講義 実習	NPO教育支援協会 北関東スタッフ	10

(4) 評価と反省

スマートフォンの基本操作方法が確認でき、またラインアプリについて学び、実際に操作して慣れることで、連絡手段を1つ増やすことができた。

サークル見学・体験週間

(1) ねらい

- ①普段の活動の様子を見学したり、体験する機会を設けることで、地域住民に様々な自主学習グループの活動を知ってもらう機会とする。
- ②新たな会員の入会を促し、学習活動の継続を支援する。

(2) 対象

どなたでも（自主学習グループの活動に興味がある人）

(3) 実施方法

実施期間中（2/6～26）、桂萱学習グループ連絡協議会の41グループのうち、PRや公開を希望するグループの普段の学習時間帯に、見学や体験を希望する者を受け入れる。館内掲示にて、実施内容を表示して案内を行う。掲示は、各グループの申し出の内容に基づき作成する。

(4) 評価と反省

活動する部屋の入口にグループ名を表示して案内をすることで、一般の方に関心を持ってもらえたとのことで、自主学習グループの反応がよかった。その結果、見学者が入会に繋がったケースが複数のグループであった。PRに一定の効果があったと思われる。ただ、見学も入会も無かったグループもあり、次回は各グループの希望も参考にしてPR方法について検討を重ねたい。

参考：令和5年度桂萱学習グループ連絡協議会行事

回	月日	内容	参加者等
1	4/11（火）	役員会議	7 人
2	4/15（金）	代表者会議	37 グループ
3	5/23（火）	第 1 回グループリーダー研修（「野外研修」）	34 人
4	6/25（日）	前期公民館清掃	19 グループ + 役員
5	7/1（土）	第 85 号連協だより発行（館報 7 月号と同紙面）	毎戸配布
6	10/21（土） 28（土） 29（日）	第 43 回桂萱地区文化祭	全グループ
7	11/27（月）	役員会議	9 人
8	12/17（日）	後期公民館清掃	18 グループ + 役員
9	12/17（日）	役員会議	7 人
10	1/1（月）	第 86 号連協だより発行（館報 1 月号と同紙面）	毎戸配布
11	1/19（金）	減免申請説明会	36 グループ
12	2/6（火） ～26（月）	サークル見学・体験週間	40 グループ
13	2/26（月）	第 2 回グループリーダー研修「スマホの活用」	10 人
14	3/7（木）	会計監査	7 人
15	3/7（木）	役員会議	16 人

7 桂萱公民館 館報「桂萱」

(1) 公民館報「桂萱」の発行

①公民館発行委員会（構成団体：桂萱地区自治会連合会・桂萱地区地域づくり推進協議会・桂萱地区青少年健全育成会・桂萱学習グループ連絡協議会・桂萱公民館）にて館報の編集・作成し、公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務のお知らせ、図書館新刊図書の案内をしている。

②A4判カラー両面印刷、または各種団体情報の掲載時（青健だより等）にはA3判カラー両面印刷。毎月1日発行。

③桂萱地区毎戸（12,500戸／月）及び地区内の教育関係機関（小・中学校）、図書館桂萱分館に配布している。

(2) ホームページ・Instagramを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ上に桂萱公民館に関わる情報（公民館概要、取扱い業務、周辺地図、公民館部屋利用について、学習グループ一覧、館報等）を掲載。

8 各種団体事業・団体育成事業

第39回 桂萱地区のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場

(1) ねらい

健康で明るく育つ子どもたちを地域で祝福し、子どもたちがイベントを楽しみ互いに励まし合いながら、様々な体験をすることを通じてその自立心、社会性を伸ばすとともに、自分への自信を実感することにより子どもたちの健全育成を図る。また、子どもからお年寄り、障害のある方々が互いにふれあいを深め、子どもたちを地域で育てるという気運を醸成し、ノーマライゼーションの理念に基づいた明るい地域づくりを推進する。

(2) 内容

月 日	事業内容等	人数	会場
5/12 (日)	【公民館東側駐車場・西側駐車場】 オープニングセレモニー（桂萱中吹奏楽部演奏）、クイズ桂萱、ポイントラリー、変形自転車コーナー、泉荘パラダイスフレンド楽器演奏、健康相談・歯磨き指導コーナー、医療機器・介護用品の展示コーナー、車椅子体験、福祉車両展示、施設菓子類・うどんの販売、施設手芸品販売、クラフト作成、民生世代間工作・ヨーヨー釣り・県民健康科学大生のコーナー、福祉相談コーナー、消防コーナー（消防車・救急車の展示、煙体験、キーホルダーづくり）、警察コーナー（パトカーの展示、写真撮影）、交通安全の呼びかけ、薬物乱用防止の呼びかけ、骨密度測定、バルーンアート、読み聞かせ・人形劇、自治会「駄菓子屋」出店、その他各種団体による模擬店等	2,300	桂萱中学校第二グラウンドおよび桂萱公民館

(3) 評価と反省

- ①新型コロナウイルス感染症予防のために4年ぶりの開催となった。
- ②開催時間を午前9時から11時30分までとしたが、多くの親子連れ等が会場に訪れ、子ども達の沢山の笑顔を見ることができた。
- ③市の方針で会場内では水分補給以外の飲食を禁止し、会場内で調理・販売するコーナーは設けないこととした。しかし、多くの参加型のコーナーを設け、ポイントラリーを実施したことで大盛況だった。
- ④久しぶりの開催のため、中学生ボランティアは桂萱中のみの参加となり、中学生チャレンジコーナーの参加はなかった。

桂萱地区スポーツ協会行事

令和5年度 桂萱地区スポーツ大会 結果

開催日	大会名	会 場	参加者数
4月17日(月)	桂萱地区スポーツ協会 総会	桂萱公民館ホール	55人
5月28日(日)	第57回スマイルボウリング大会	桂萱中学校体育館	30チーム約200人
優勝-亀泉町B 2位-西片貝町C 3位-幸塚町C 3位-西片貝町A			
6月25日(日)	第22回ソフトバレーボール大会	桂萱中学校体育館・桂萱小学校体育館	30チーム約240人
《初級》 優勝-上沖町 2位-堤町A 3位-堀之下町 3位-萱野団地A			
《上級》 優勝-上泉町A 2位-西片貝町B 3位-幸塚町 3位-萩窪町A			
9月3日(日)	第28回ゴルフ愛好会親善ゴルフ大会	赤城国際カントリークラブ	85人
《団体》 優勝-幸塚町 2位-江木町 3位-西片貝町			
《個人総合》 優勝-青木文雄(萩窪町) 2位-赤石隆一(幸塚町) 3位-植栗一夫(亀泉町)			
《個人女子》 優勝-早稲直子(西片貝町) 2位-宮下たけ代(上沖町) 3位-鈴木裕美(西片貝町)			
9月24日(金)	第54回ソフトボール大会	登利平桃ノ木川グラウンド	15チーム約240人
《Aブロック》 優勝-上沖町 2位-萱野団地 3位-上泉町 3位-堤町ローズタウン			
《Bブロック》 優勝-堤町 2位-下沖町A 3位-亀泉町 3位-江木町			
10月1日(日)	第64回桂萱地区市民運動会	桂萱小学校校庭	約1000人
※開会式後のラジオ体操途中からの降雨のため、競技はできずに中止となった。			
10月22日(日)	第29回グラウンド・ゴルフ大会	中央ビジネス石関公園多目的広場	42チーム約300人
《団体》 優勝-西片貝町A 2位-東片貝町A 3位-三俣町三丁目			
《個人男子》 優勝-下田忠彦(西片貝町) 2位-設楽市郎(上泉町) 3位-中嶋孝二(堤町)			
11月23日(木)	第55回レディースバレーボール大会	桂萱中学校体育館	7チーム約100人
優勝-上沖町 2位-萩窪町 3位-上泉町			
12月3日(日)	第55回卓球大会	桂萱中学校体育館	18チーム約100人
《一般団体》 優勝-上泉町A 2位-西片貝町A 3位-幸塚町B 3位-下沖町A			
《新卓球個人》 優勝-阿久澤慎(幸塚町) 2位-奈良友江(三俣町三丁目) 3位-坂口正人(三俣町三丁目) 3位-武藤好雄(下沖町)			

9 読書普及活動

公民館報において、前橋市立図書館桂萱分館新刊図書のご案内を掲載し、地域住民への読書の普及を行っている。

10 関係資料①

○前橋市公民館条例

昭和 30 年 3 月 28 日
条例第 24 号

(設置)

第 1 条 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号。以下「法」という。)

第 21 条の規定により前橋市に公民館を設置する。

(目的)

第 2 条 公民館は、市民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(名称、位置及び対象区域)

第 3 条 公民館の名称、位置及び対象区域は、次のとおりとする。

名称	位置	対象区域
前橋市中央公民館	前橋市本町二丁目 12 番 1 号	全市域
前橋市上川淵公民館	前橋市後閑町 35 番地	前橋市支所及び出張所設置条例(昭和 42 年前橋市条例第 23 号。以下「設置条例」という。)別表に定める上川淵市民サービスセンターの所管区域
前橋市上川淵公民館上北分館	前橋市中内町 7 番地 4	西善町 山王町 山王町一丁目 山王町二丁目 中内町 東善町
前橋市下川淵公民館	前橋市鶴光路町 701 番地	設置条例別表に定める下川淵市民サービスセンターの所管区域
前橋市芳賀公民館	前橋市鳥取町 817 番地	設置条例別表に定める芳賀市民サービスセンターの所管区域
前橋市桂萱公民館	前橋市上泉町 141 番地 3	設置条例別表に定める桂萱市民サービスセンターの所管区域
前橋市東公民館	前橋市箱田町 1642 番地	設置条例別表に定める東市民サービスセンターの所管区域
前橋市元総社公民館	前橋市元総社町三丁目 1 番地 1	設置条例別表に定める元総社市民サービスセンターの所管区域
前橋市総社公民館	前橋市総社町総社 1596 番地 1	設置条例別表に定める総社市民サービスセンターの所管区域
前橋市総社公民館桜が丘集会所	前橋市総社町桜が丘 1208 番地 9	総社町桜が丘
前橋市南橋公民館	前橋市日輪寺町 158 番地	設置条例別表に定める南橋市民サービスセンターの所管区域
前橋市清里公民館	前橋市青梨子町 339 番地	設置条例別表に定める清里市民サービスセンターの所管区域
前橋市永明公民館	前橋市上大島町 930 番	設置条例別表に定める永明市民サービスセンターの所管区域

館	地 1 番地 3	ビスセンターの所管区域
前橋市城南公民館	前橋市二之宮町 1320 番地	<u>設置条例別表</u> に定める城南支所の所管区域
前橋市大胡公民館	前橋市堀越町 1115 番地	<u>設置条例別表</u> に定める大胡支所の所管区域
前橋市宮城公民館	前橋市鼻毛石町 1711 番地 8	<u>設置条例別表</u> に定める宮城支所の所管区域
前橋市宮城公民館鼻毛石集会所	前橋市鼻毛石町 647 番地 6	鼻毛石町
前橋市粕川公民館	前橋市粕川町西田面 194 番地 4	<u>設置条例別表</u> に定める粕川支所の所管区域
前橋市粕川公民館込皆戸集会所	前橋市粕川町込皆戸 129 番地 1	粕川町込皆戸
前橋市粕川公民館膳集会所	前橋市粕川町膳 219 番地 2	粕川町膳
前橋市富士見公民館	前橋市富士見町田島 866 番地 1	<u>設置条例別表</u> に定める富士見支所の所管区域

- 2 前橋市中央公民館は、全市域にわたる事業、公民館相互の連絡調整に関する事業その他個々の公民館に行うことが不相当と認められる事業を行う。

(昭 41 条例 34・昭 42 条例 27・昭 43 条例 27・昭 45 条例 35・昭 45 条例 65・昭 46 条例 41・昭 47 条例 26・昭 48 条例 22・昭 49 条例 54・昭 50 条例 19・昭 53 条例 7・昭 56 条例 37・昭 56 条例 55・昭 57 条例 7・昭 58 条例 20・昭 58 条例 26・昭 59 条例 6・昭 61 条例 34・平元条例 2・平 2 条例 23・平 12 条例 50・平 16 条例 19・平 18 条例 2・平 18 条例 35・平 19 条例 47・平 20 条例 48・平 23 条例 2・一部改正)
(管理)

- 第 4 条 公民館は、前橋市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(昭 48 条例 22・平 17 条例 44・一部改正)
(職員)

- 第 5 条 公民館に次の職員を置く。

- (1) 館長 1 人
- (2) 主事 若干名
- (3) その他の職員 若干名

(昭 58 条例 20・平 8 条例 11・一部改正)
(職員の任免及び身分)

- 第 6 条 公民館職員の任免は、教育委員会が行う。

- 2 公民館職員の給与、服務その他必要な事項については、別に法律、命令等により特に規定された事項を除き、教育委員会事務局職員の例による。

(運営審議会及び運営推進委員会)

第7条 法第29条第1項の規定に基づき、前橋市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)を前橋市中央公民館に置く。

2 その他の公民館に前橋市公民館運営推進委員会を置くことができる。

(平12条例5・一部改正)

(審議会委員の定数)

第8条 審議会委員の定数は、20人以内とする。

(平8条例11・平12条例5・一部改正)

(審議会の委員の委嘱)

第9条 審議会の委員は、次に掲げる者うちから教育委員会が委嘱する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者

(2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(3) 学識経験のある者

(平成24条例17・追加)

(審議会の委員の任期)

第10条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 審議会の委員は、再任されることができる。

(昭44条例23・平8条例11・一部改正・平24条例17・旧第9条繰下・一部改正)

(経費)

第11条 公民館の維持運営に要する経費は、一般市費、補助金、寄附金その他の収入をもってこれに充てる。

(昭44条例23・旧第11条繰上、平24条例17・旧第10条繰下)

(規則への委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別にこれを定める。

(昭44条例23・旧第12条繰上、平8条例11・一部改正、平24条例17、旧第11条繰下)

附 則

この条例は、昭和30年4月1日から施行する。

附 則 中 略

附 則(平成28年9月13日条例第58号) 抄

この条例は、市規則で定める日から施行する。

(平成29年規則第22号で平成29年4月1日から施行)

10 関係資料②

○前橋市公民館運営推進委員会規則

昭和 37 年 11 月 1 日
教育委員会規則第 8 号

(目的)

第 1 条 この規則は、前橋市公民館条例(昭和 30 年前橋市条例第 24 号)第 7 条第 2 項により設置される前橋市公民館運営推進委員会(以下「推進委員会」という。)について定めることを目的とする。

(任務)

第 2 条 推進委員会は、公民館における各種事業の企画実施について調査審議し、公民館運営に協力するものとする。

(定数及び委嘱)

第 3 条 推進委員の定数は 10 人以内とし、前橋市公民館条例第 9 条各号に規定する者のうちから教育長にたまわり

社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 30 条に規定する者のうちから教育長に諮り、館長がこれを委嘱する。

(昭 49 教委規則 7・平 12 教委規則 13・平 13 教委規則 3・一部改正)

(運営)

第 4 条 推進委員会の運営は、前橋市公民館運営審議会規則(昭和 30 年教育委員会規則第 27 号)の例によるものとする。

(委任)

第 5 条 この規則施行について、必要な事項は、教育長に諮り館長がこれを定める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 前橋市公民館支館運営推進委員会規則(昭和 30 年教育委員会規則第 28 号)は、廃止する。

附 則(昭和 49 年 4 月 30 日教委規則第 7 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成 12 年 3 月 27 日教委規則第 13 号)

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 13 年 5 月 28 日教委規則第 3 号)

この規則は、平成 13 年 7 月 1 日から施行する。

10 関係資料③

○前橋市公民館運営審議会規則

昭和 30 年 6 月 13 日
教育委員会規則第 27 号

(目的)

第 1 条 前橋市公民館条例(昭和 30 年前橋市条例第 24 号)第 7 条に規定する前橋市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)は館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとし、本規則の定めるところにより運営する。

(役員)

第 2 条 審議会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1 名
- (2) 副委員長 1 名

2 役員の選出は、委員の互選による。

(役員の任務)

第 3 条 委員長は、会務を総理する。

- 2 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるとき、これを代理する。
- 3 委員長、副委員長共に事故あるときは、委員の中で最年長者がこれを代行する。

(専門委員会)

第 4 条 審議会は、必要により専門委員会を設けることが出来る。

- 2 専門委員は、委員長がこれを委嘱する。

(会議)

第 5 条 会議は、中央公民館長の要請により委員長がこれを招集する。

- 2 会議は委員の半数以上の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。

(委任)

第 6 条 この規則施行について必要な事項は、教育長にはかり中央公民館長がこれを定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和 37 年 11 月 1 日委員会規則第 7 号)

この規則は、公布の日から施行する。

